

指標 17.14.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 17.14.1 持続可能な開発の政策の一貫性を強化するためのメカニズムがある国の数

ターゲット 17.4 持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する。

ゴール 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

定義及び根拠

○ 定義

「持続可能な開発の政策の一貫性」は、持続可能な開発の次元をカバーする一般的な政策間の一貫性として解釈されている。この指標は、以下のメカニズムに関連する複合指標である：

1. 政治的コミットメントの制度化
2. 意思決定における長期的な考慮
3. 省庁間及びセクター横断的な調整
4. 参加型プロセス
5. 政策の連携
6. 政府のあらゆるレベルにおける整合性
7. 政策の一貫性を確保するためのモニタリングと報告
8. 政策の一貫性を確保するための資金調達

○ 概念

「持続可能な開発」の範囲：本手法において「持続可能な開発の政策の一貫性」は、持続可能な開発の次元をカバーする政策全般の一貫性として解釈され、アジェンダ 2030 と持続可能な開発目標（SDGs）の一貫した実施を支援するためのメカニズムの狭い定義を採用するのではなく、現在のアジェンダの時間枠をはるかに超えた持続可能な開発のための政策の一貫性を促進することを目的としている。本手法で定める政策の一貫性メカニズムには、2015 年のアジェンダ 2030 採択以前に既に存在していたメカニズムが含まれる可能性がある。

政策の一貫性という概念：指標のテキスト上の表現は「政策の一貫性」をカバーしている。この指標を普遍的に適用可能かつ多様な国家状況に適応可能にするため、この手法で測定されるメカニズムは、同じ目的を達成

することを旨しながらも、やや異なる表現を用いる幅広いメカニズムをカバーしている。この指標を適切に評価・報告するため、「政府全体アプローチ」や「統合アプローチ」といった類似の概念は、「政策の一貫性」の概念と同様の趣旨で解釈される。ただし、使用される概念は、持続可能な開発の多様な次元をカバーする政策を考慮する必要がある。したがって、開発のための政策の一貫性（ミレニアム開発目標の精神に沿って、主に政府開発援助（ODA）と他の政策の一貫性に限定されることが多い概念）に焦点を当てたメカニズムは、この枠組みでは考慮されない。

○ 根拠及び解釈

持続可能な開発の3つの次元（経済的、社会的、環境的）を均衡のとれた統合的な方法で実現するため、持続可能な開発のための政策の一貫性を強化することは重要である。また、政府のさまざまなレベルにおける政策の一貫性を確保し、異なるセクターの政策が相互に補完し合い、互いに矛盾しないようにすることも重要である。さらに、国内政策の国際的な影響に対応するためにも重要である。

政策の一貫性は、最低限、政策間のトレードオフを特定し、負の影響を軽減することを目的とする。より野心的なレベルでは、政策間のシナジーを促進し、相互に補完し合う政策を策定し、関係する利害関係者の視点を取り入れた実施可能で持続可能な政策を確保することを目指すべきである。

データソース及び収集方法

SDGs 推進本部をはじめとした日本政府の取組に基づきデータを収集。

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

国連環境計画（UNEP）が、既存の研究、文献、パートナー、類似の課題に関する既存の指標を基に開発した SDG 17.14.1 のための複合指標フレームワークに従って算出。この指標は8つの領域から構成されている。各領域は0から10の点数で評価され、0は要求されるメカニズムが全く実施されていないことを、10は要求されるメカニズムが全て実施されていることを意味し、各国の総得点（80点満点）に対する得点の割合が計算される。以下の表1が評価に使用され、詳細な情報は、文書「SDG 指標

17.14.1 のメソッドロジ：持続可能な開発のための政策一貫性を強化するためのメカニズム」に記載されている。

表 1：持続可能な開発のための政策の一貫性を強化するためのメカニズムの評価

テーマ	ナショナルスコア
1. 制度化された政治的コミットメント	10
2. 長期的考慮事項	7
3. 省庁間及びセクター横断的な調整	9
4. 参加型プロセス	10
5. 持続可能な開発の 3 つの次元、政策効果の評価及び連携の統合	9
6. 政府の異なるレベル間の協議と調整	5
7. 政策の一貫性に関するモニタリングと報告	10
8. 財政資源とツール	5
合計	65
持続可能な開発のための政策の一貫性を強化するための既存のメカニズム (%)	81.25 (Sum/80×100%)

○ コメントと限界

持続可能な開発のための政策の一貫性を強化するために、国家レベルで評価するのに役立つ多くのメカニズムが存在する。この手法は、各国が政策の一貫性が国家レベルで何を意味し、どのように改善できるかについて議論する基盤を提供することを目的としている。このような議論や政策の一貫性を改善するための戦略は、国の自発的国家レビュー（VNR）や国家開発戦略・計画の策定に反映され、国がアジェンダ 2030 の実施能力を向上させるためのさらなる努力を促進する可能性がある。

データの詳細集計

なし

参考

この指標の計算方法は、UNEP 文書「SDG 指標 17.14.1：持続可能な開発のための政策の一貫性を強化するためのメカニズムに関する方法論」に記載されている。

データ提供府省

外務省

関連政策府省

内閣官房、内閣府、総務省、外務省

担当国際機関

国連環境計画（UNEP）